

2024年度

中部日本シニアアマチュアゴルフ選手権【予選】

開催日	開催コース	
4月10日(水)	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場(西コース)	愛知県
4月11日(木)	名古屋広幡ゴルフコース	愛知県
4月12日(金)	小松ゴルフ倶楽部	石川県
4月15日(月)	伊深の森カントリークラブ	岐阜県
4月16日(火)	アリジカントリークラブ花垣コース	三重県
4月17日(水)	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	愛知県
4月18日(木)	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	愛知県
	小杉カントリークラブ	富山県
4月22日(月)	定光寺カントリークラブ	愛知県

※出場日を間違えないようスタート表で確認してください

主催 (公社)日本パブリックゴルフ協会

後援 (公財)日本ゴルフ協会 / 中部ゴルフ連盟 / (公社)全日本ゴルフ練習場連盟

(一社)日本ゴルフ用品協会中部日本支部 / 中部ゴルフ練習場連盟 / 中日新聞 / 中日スポーツ

大会役員及び競技委員

◆大会会長	加藤 義孝			
◆大会役員	三治 弘和	前田 和彦	鄭 普永	齊藤 淳
	中村 隆	三間 章弘	加藤 義親	(順不同)

◆コース	◆電話	◆競技委員長	◆競技委員
名古屋広幡ゴルフコース	0565-48-1551	牧 俊一	柘植 勝
ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	0567-68-6651	濱口 正明	稲盛 浩一
ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場	0561-53-3993	平嶋 豊三	井上 淳也
伊深の森カントリークラブ	0574-29-1891	清川 浩	藤田 久徳
アリジカントリークラブ花垣コース	0595-39-1008	山口 信司	長橋 哲宏
小杉カントリークラブ	0766-56-7558	川腰 博之	池田 昌代
定光寺カントリークラブ	0561-48-4821	風間 利夫	吉田 一貴
小松パブリック	0761-65-2277	中川 明彦	渡邊 貢

競技開催規定

競技方法

- 本競技は18ホール・ストロークプレーとする。
- 各予選会場の予選通過人数は下記の通りとする。

◆予選会場	◆開催日	◆参加人数	◆通過人数
ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場	4月10日(水)	95名参加 /	26名通過
名古屋広幡ゴルフコース	4月11日(木)	69名参加 /	19名通過
小松ゴルフ倶楽部	4月12日(金)	20名参加 /	6名通過
伊深の森カントリークラブ	4月15日(月)	72名参加 /	20名通過
アリジカントリークラブ花垣コース	4月16日(火)	46名参加 /	13名通過
ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	4月17日(水)	86名参加 /	24名通過
ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	4月18日(木)	71名参加 /	20名通過
小杉カントリークラブ	4月18日(木)	59名参加 /	16名通過
定光寺カントリークラブ	4月22日(月)	16名参加 /	4名通過
	8会場9開催	534名参加	予選通過148名

競技規則

- 本競技は、2023年発効の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」(www.Jga.or.jp)並びにPGS競技規則(ハードカード)による。
ローカル・ルールの追加事項は、各予選会場にて当日掲示し告知する。
- タイスコアの場合は、マッチング・スコアカード方式により順位を決定する。
- 公認球リスト(ローカルルールひな型G-3)を適用する。
- 適合ドライバーヘッドリスト(ローカルルールひな型G-1)を適用する。
ローカルルールひな型G-10 ストロークを行う時パターを除き46インチを超える長さのクラブの使用を禁止する。

注意事項

- スタート時間の40分前に受付を完了し、10分前には所定の位置(スターティングホール)に待機すること。
- スコアカードはラウンド終了後直ちにアテスト(同伴競技者署名)及び競技者確認署名を確かめ本人が競技委員に提出すること。
- 競技当日の練習は指定の場所で行うこと。(当日場所を明示する)
- プレーの進行が遅い場合には、その組全員にペナルティを科すことがあるので注意すること。
- 欠席者があった場合、スタート時間及び組合せを変更することがある。
- キャディバッグは口径9インチ、重量13kgを超えないこと。
- コース内での携帯電話の使用を禁止する。(緊急の場合を除く)
重大なエチケット違反と判断される場合、競技失格となることがある。
- 選手の付添、応援者のコース内への立ち入りを禁止する。

その他

- 指定練習日、宿泊施設については、各ゴルフ場へ問い合わせること。
- 予選通過者には、5月7日(火)・8日(水) ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場開催の中部日本地区決勝大会の案内いたしますので所定の手続きをお願いします。

2024年度日本パブリックゴルフ協会主催競には R&A と USGA が制定したゴルフ規則と以下のローカルルールと競技会場で追加または修正したローカルルールが適用されます。

下記に参照するローカルルールの全文については2023年発効の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること（www.jga.or.jp で閲覧可）。

別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は：一般の罰（2罰打）

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（規則18.2）

- (a) アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- (b) アウトオブバウンズに止まったり、そのアウトオブバウンズを超えて止まった球は、他のホールではインバウンズとなるコースの別の部分に止まったとしてもアウトオブバウンズである。

2. ペナルティーエリア（規則17）

- (a) 片側だけ定められているペナルティーエリアは無限に及ぶ。
- (b) ペナルティーエリアがコースの境界縁に接している場合、そのペナルティーエリアの縁はその境界縁まで及び、その境界縁と一致する。
- (c) ペナルティーエリアの縁がコースの境界（アウトオブバウンズの境界）と一致する地点をプレーヤーの球が最後に横切ってからそのペナルティーエリアの中で見つかるか、そのペナルティーエリアの中に止まったことが分かっている、または事実上確実な場合、ローカルルールひな型B-2.1に基づいて反対側の救済を受けることができる。
- (d) ペナルティーエリアのためのドロップゾーン
ペナルティーエリアのためのドロップゾーンが設置される場合、1打の罰に基づく救済の追加の選択肢となる。ドロップゾーンは救済エリアであり、球はその救済エリアにドロップされ、その救済エリアに止まらなければならない。

3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則16）

- (a) 修理地
 - 1) 白線で囲まれ青杭で標示してある区域
 - 2) 張芝の継ぎ目；ローカルルールひな型F-7を適用する。
 - 3) パッティンググリーン上、あるいはフェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分にあるヤーデージ用にペイントされた線や点は修理地として扱われ、規則16.1に基づく救済を受けることができる。ヤーデージ用のペイントがプレーヤーのスタンスにだけ障害となる場合、障害は存在しない。
- (b) 動かさない障害物
 - 1) 白線の区域と動かさない障害物がつながられている場合、一つの異常なコース状態として扱われる。
 - 2) 動かさない障害物で囲まれている庭園区域とその中で生長しているすべての物は、一つの異常なコース状態として扱われる。
 - 3) ウッドチップやマルチ（木屑）などを表面に敷いた道路や通路。ウッドチップ

プやマルチ（木屑）などの個体はルースインペディメントである。

- 4) U字排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にあるU字排水溝）。
- 5) 人工の表面を持つ道路に隣接しているU字排水溝はその道路の一部として扱う。

4. 不可分な物

次の物は不可分な物であり、罰なしの救済は認められない：

- (a) 樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤ、ケーブル、巻物。
- (b) ペナルティーエリア内にある人工的な護岸やパイリング（枕木等の構築物）。

5. クラブと球の規格

(a) 適合ドライバヘッドリスト：ローカルルールひな型G-1を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：
失格

(b) 適合球リスト：ローカルルールひな型G-3を適用する。

(c) ストロークを行うとき、プレーヤーはパターを除き46インチの長さを超えるクラブを使ってはならない：ローカルルールひな型G-10を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：
失格

6. 険悪な気象状況によるプレーの中断（規則5.7）

プレー中断の連絡方法については、開催コースの連絡方法（カートナビ・無線連絡・エアホーン等）に準拠する。

エアホーンを使用する場合は、次の信号がプレーの中断と再開に使われる：

- | | | |
|--------|---|-----------------------|
| 即時中断 | — | 1回の長いサイレンまたはエアホーン |
| 中断 | — | 3回の連続する短いサイレンまたはエアホーン |
| プレーの再開 | — | 2回の連続する短いサイレンまたはエアホーン |

注意：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会
がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤー
には練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格と
なることがある。

7. 練習（規則5）

(a) ラウンド前とラウンドとラウンドの間の練習（規則5,2）

規則5.2bは次の通り修正する。

プレーヤーは、ラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技コースで練習をしては
ならない。ただし、指定練習区域を除く。

(b) ホールとホールの中の練習（規則5.5b）

規則5.5bを次の通り修正する：

二つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・ 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・ 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによ
ってパッティンググリーン面をテストする。

8. キャディー

プレーヤーのキャディーの使用を禁止したり、要求したり、あるいはキャディーと
して使用できる人について制限する場合、各競技の競技規定に掲載される。

9. 参加資格

プレイヤーは各競技の「競技規定」で定められる参加資格の条件を満たしていなければならない。

10. スコアカードの提出（規則 3.3 b）

プレイヤーのスコアカードは、プレイヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレイヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならない、そしてすぐに戻らなければならない。

11. タイの決定

タイの決定方法は各競技の競技規定に定められるか、委員会により会場で公表される。

12. 競技の結果 — 競技の終了

本競技は競技委員長の成績発表をもって終了する。

13. 競技の成立

本競技の競技者全員が規定のラウンドをホールアウトできなかった場合、委員会は競技成立について別途協議するものとする。

14. 委員会の裁定

委員会はローカルルールを修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

15. 行動規範

プレイヤーはゴルフ規則 1.2a に記されている通り行動しなければならない。

- ・ 誠実に行動すること。
- ・ 他の人に配慮を示すこと — 例えば、速やかなペースでプレーする、他の人の安全に気を配る、他のプレイヤーの気を散らさない。プレイヤーのプレーした球が誰かに当たる危険があるかもしれない場合、プレイヤーはすぐに注意喚起（「フォーアー」のような伝統的な警告など）するべきである。
- ・ コースをしっかりと保護すること — 例えば、ディボットを元に戻す、バンカーをならす、ボールマークを修理する、不必要にコースを傷つけない。

【行動規範の違反の罰】

- ・ 行動規範の最初の違反 — 警告あるいは委員会の制裁。
- ・ 2回目の違反 — 1 罰打。
- ・ 3回目の違反 — 一般の罰。
- ・ 4回目の違反や重大な非行 — 失格。

注 意 事 項

16. 参加の取り消し

委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレイヤーの参加資格を取り消すことがある。

17. 携帯電話

緊急時以外コース内での携帯電話の通話は禁止する。